

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和5年7月】

■調査概要（データ対象期間：令和5年7月1日～7月31日）

○調査期間：令和5年7月28日～令和5年8月23日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業17企業、製造業19企業、卸売業12企業、小売業24企業

飲食業13企業、サービス業36企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計121企業>

○調査項目：7月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

業況DIはマイナスからプラスへ転じた、水準DIはマイナス幅が縮小した

## 1. 業況判断

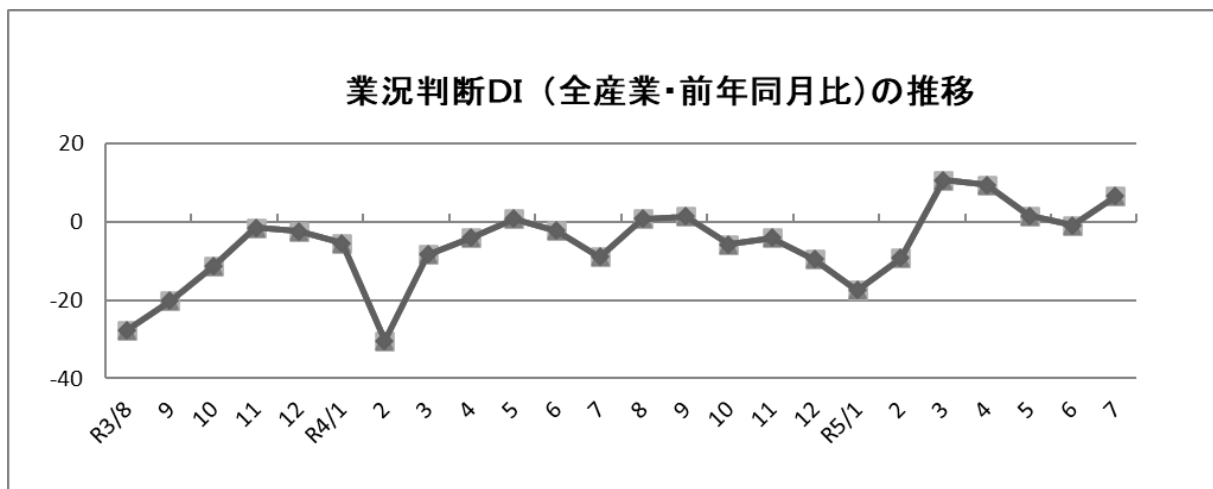
- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(▲0.9)より7.5ポイント上昇し、6.6となった。業種別では、飲食業はプラス幅が拡大し、卸売業はプラス幅が縮小した。製造業は0からプラスに転じ、建設業は0からマイナスになった。サービス業はマイナスからプラスに転じ、小売業はマイナス幅が縮小した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲13.5)より6.9ポイント上昇し、▲6.6になった。業種別では、卸売業は0からプラスに転じ、飲食業はマイナスからプラスに転じた。サービス業、小売業はマイナス幅が縮小した。製造業、建設業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	24.8 (18.6)	57.0 (61.9)	18.2 (19.5)	▲0.9 ↑	17.4 (13.6)	58.6 (59.3)	24.0 (27.1)	▲6.6 ↑
建設業	0.0 (5.0)	70.6 (90.0)	29.4 (5.0)	0.0 ↓	0.0 (10.0)	70.6 (75.0)	29.4 (15.0)	▲29.4 ↓
製造業	31.6 (31.6)	52.6 (36.8)	15.8 (31.6)	0.0 ↑	15.8 (21.1)	57.9 (52.6)	26.3 (26.3)	▲10.5 ↓
卸売業	25.0 (25.0)	66.7 (75.0)	8.3 (0.0)	16.7 ↓	16.7 (25.0)	75.0 (50.0)	8.3 (25.0)	8.4 ↑
小売業	20.8 (18.2)	50.0 (50.0)	29.2 (31.8)	▲8.4 ↑	20.8 (13.6)	45.9 (54.6)	33.3 (31.8)	▲12.5 ↑
飲食業	61.5 (33.3)	30.8 (50.0)	7.7 (16.7)	53.8 ↑	46.2 (16.7)	30.7 (41.6)	23.1 (41.7)	23.1 ↑
サービス業	22.2 (13.5)	63.9 (67.6)	13.9 (18.9)	8.3 ↑	13.9 (8.1)	66.7 (64.9)	19.4 (27.0)	▲5.5 ↑

( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計  
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計

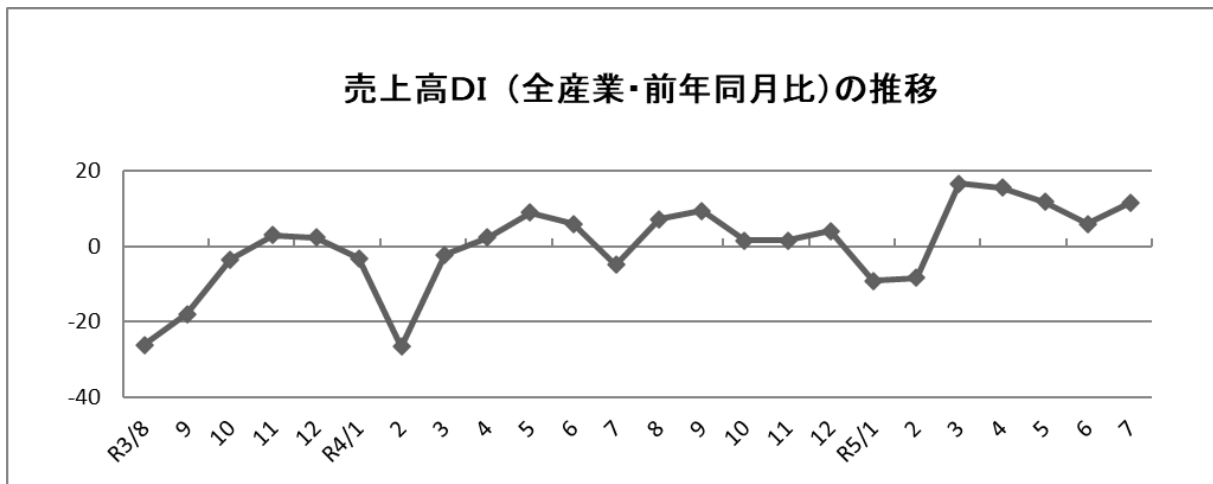


## 2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月(6.0)より5.6ポイント上昇して、11.6となった。業種別に見ると、飲食業はプラス幅が拡大し、卸売業、製造業はプラス幅が縮小した。サービス業は0からプラスへ転じ、建設業は0からマイナスに転じた。小売業はマイナスからプラスへ転じた。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全 体	▲ 4.9	7.2	9.4	1.6	1.6	4.0	▲ 9.2	▲ 8.4	16.6	15.5	11.7	6.0	11.6
建 設 業	▲ 36.8	▲ 10.5	▲ 10.5	▲ 20.0	5.0	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 27.7	▲ 10.6	▲ 29.4	▲ 31.5	0.0	▲ 23.5
製 造 業	▲ 12.5	5.9	15.8	0.0	▲ 5.0	11	▲ 5.5	▲ 11.7	5.0	30.0	5.5	26.3	15.7
卸 売 業	0.0	33.4	58	9.1	27.3	16.7	22.2	0.0	33.3	▲ 13	0.0	12.5	8
小 売 業	0.0	▲ 9.5	4	4.8	4.8	4.2	▲ 39.2	▲ 13.6	39.2	4.8	30.4	▲ 4.5	8.3
飲 食 業	5.9	33.4	20.0	30.8	▲ 6.6	7.2	23.1	▲ 23.1	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8
サービス業	4.8	7.5	0.0	0.0	▲ 2.7	11	▲ 7.9	8.3	15.0	36.9	13.5	0.0	13.9

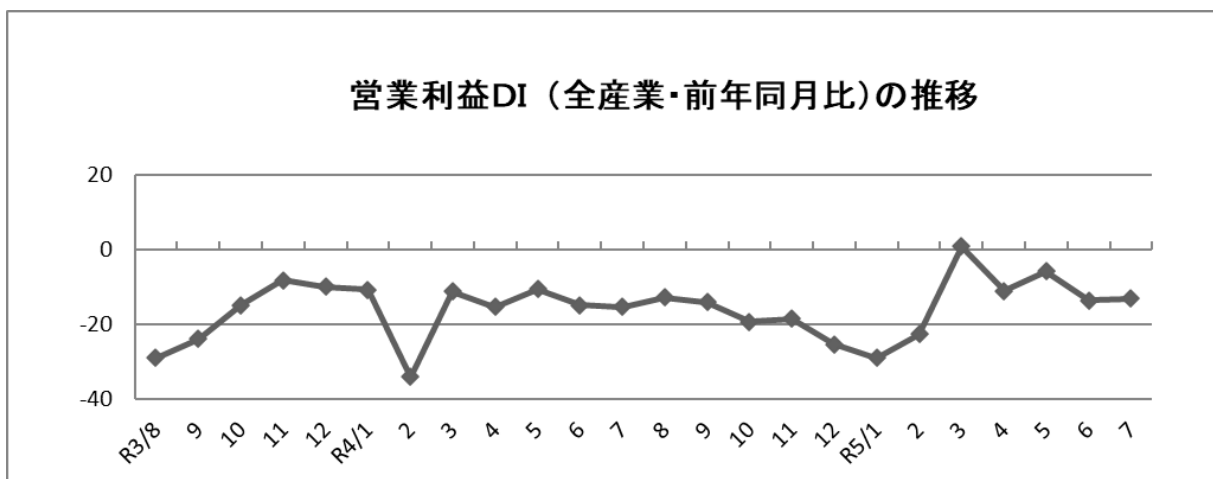


## 3. 営業利益DI（前年同月比）

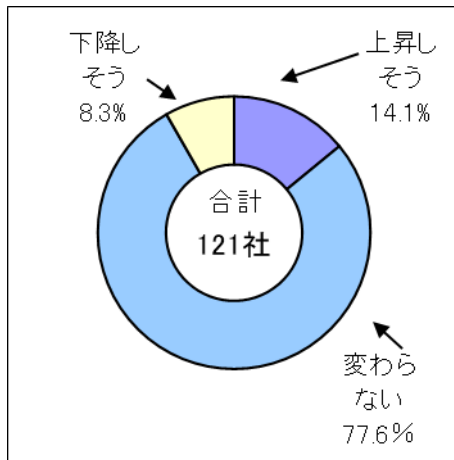
○全産業合計の営業利益DIは、前月(▲13.6)より0.4ポイント上昇して、▲13.2となった。卸売業は0のまま横ばい、飲食業、小売業、サービス業は、マイナス幅が縮小した。建設業、製造業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全 体	▲ 15.4	▲ 12.9	▲ 14.1	▲ 19.4	▲ 18.5	▲ 25.4	▲ 29.1	▲ 22.7	0.8	▲ 11.2	▲ 5.9	▲ 13.6	▲ 13.2
建 設 業	▲ 31.6	▲ 21.0	▲ 26.3	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 45.0	▲ 21.1	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 29.4
製 造 業	▲ 25.0	▲ 23.6	▲ 36.8	▲ 36.9	▲ 35.0	▲ 61.1	▲ 50.0	▲ 35.3	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 15.8	▲ 26.3
卸 売 業	▲ 9.1	25.0	25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 11.1	▲ 23.1	11.1	▲ 25.0	▲ 40.0	0.0	0.0
小 売 業	▲ 27.8	▲ 42.9	▲ 4.2	▲ 28.6	▲ 9.6	▲ 12.5	▲ 52.2	▲ 13.7	17.4	▲ 23.8	26.1	▲ 18.2	▲ 12.5
飲 食 業	▲ 11.8	▲ 13.3	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 26.7	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 38.4	▲ 22.2	▲ 16.7	0.0	▲ 16.6	▲ 8
サービス業	▲ 2.4	0.0	▲ 7.7	▲ 5	▲ 16.2	▲ 5.2	▲ 13.2	▲ 11.1	7.5	10.5	2.7	▲ 8.1	▲ 5.6



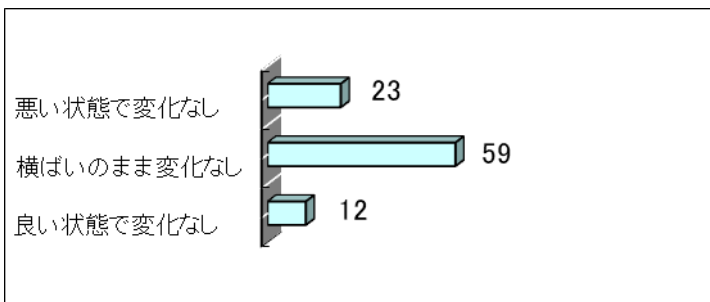
◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和5年8月～令和5年10月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ2.0ポイント減り14.1%、「下降しそう」が3.2ポイント増え8.3%となった。業種別の見通しDIは建設業(5.9)、製造業(▲5.2)、卸売業(0.0)、小売業(8.3)、飲食業(0.0)、サービス業(13.8)であった。

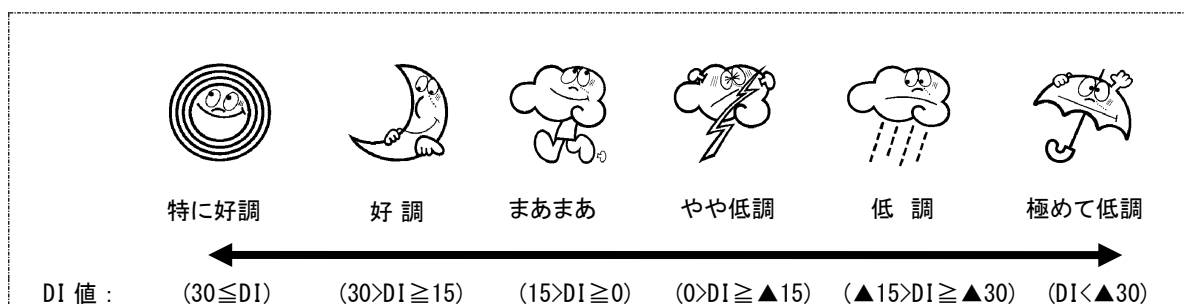
➡「上昇しそう」では「今年度の公共工事の発注が始まるため」(建設業)「経済全般の回復に連動しそうのため」(卸売業)「秋冬物商材の売れ行きが良いため」「昨年が悪過ぎたため」「新型コロナウイルス感染症が落ち着き消費意識が上がってくるため」(小売業)「景気が良くなってきている雰囲気があるため」「予約状況が好調であるため」(サービス業)また、「インバウンドを含む観光客が増えているため」といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「9月から値上げを行うため」(製造業)「人材不足と経費増加が予想されるため」(卸売業)「季節ものの商品が多かったため」「時期的要因によるため」(小売業)「お盆を過ぎると宴会が少なくなると思われるため」(飲食業)(サービス業)また、「物価高騰の影響を受けているため」といった声が寄せられた。

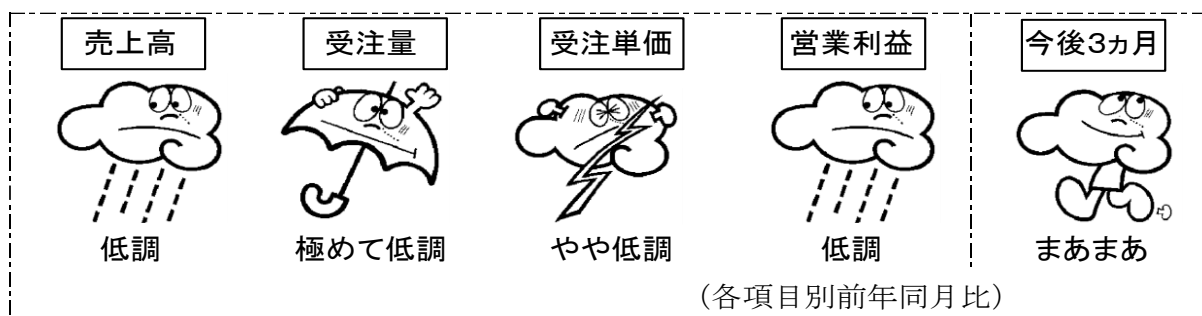


# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 36.8	▲ 10.5	▲ 10.5	▲ 20.0	5.0	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 27.7	▲ 10.6	▲ 29.4	▲ 31.5	0.0	▲ 23.5
受注量	▲ 31.6	▲ 5.3	▲ 15.8	10.0	0.0	▲ 30.0	▲ 21.0	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.5	▲ 21.1	▲ 15.0	▲ 35.3
受注単価	▲ 10.5	▲ 5.3	▲ 5.2	▲ 15.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.3	▲ 16.7	▲ 5.2	0.0	▲ 10.5	0.0	▲ 5.9
営業利益	▲ 31.6	▲ 21.0	▲ 26.3	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 45.0	▲ 21.1	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 29.4
見通し	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 5.5	0.0	5.9	5.3	5.0	5.9

## <経営者の目・見方・etc>

土木工事

・業界の動向は低調である。中部縦貫道等大型プロジェクト、各市町村の公共事業の発注の進捗が悪い。

・県の予算が低調との事で発注案件が少ない。街には外国人観光客も多く賑わいが戻ってきた。

鉄工

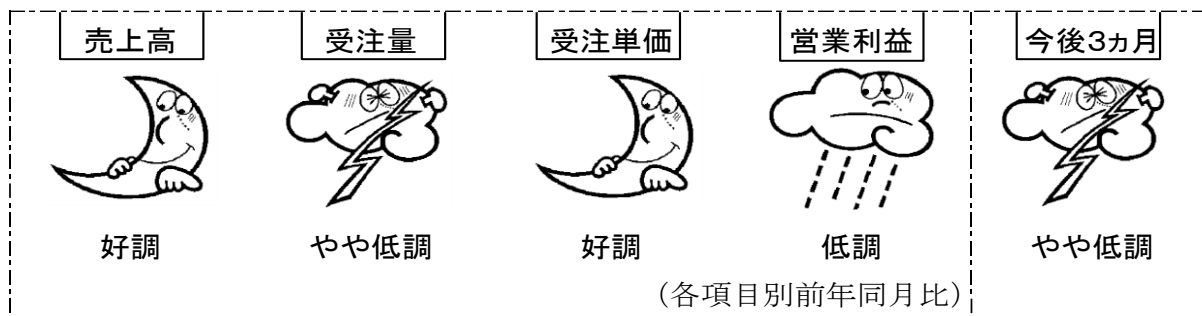
・先月同様原材料費や電気料等、高値の影響が解消しきれていないため苦戦している。

・動きが悪い。

電気工事

・官民全体を見ると件名は出ていると思うが、人手不足の影響を受けており、やりたくてもできない状況下にある。

## 2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲12.5	5.9	15.8	0.0	▲5.0	11.1	▲5.5	▲11.7	5.0	30.0	5.5	26.3	15.7
受注量	▲25.0	▲11.7	15.8	▲15.8	▲5.0	▲16.6	▲27.8	▲11.7	▲5.0	5.0	5.6	5.3	▲5.3
受注単価	6.2	11.7	15.8	21.1	20.0	11.1	16.6	23.5	10.0	25.0	16.6	21.0	26.3
営業利益	▲25.0	▲23.6	▲36.8	▲36.9	▲35.0	▲61.1	▲50.0	▲35.3	▲10.0	▲10.0	▲16.7	▲15.8	▲26.3
見通し	▲12.5	5.8	0.0	0.0	▲5.0	▲27.7	22.2	0.0	▲25.0	▲15.0	5.5	▲15.8	▲5.2

### <経営者の目・見方・e t c>

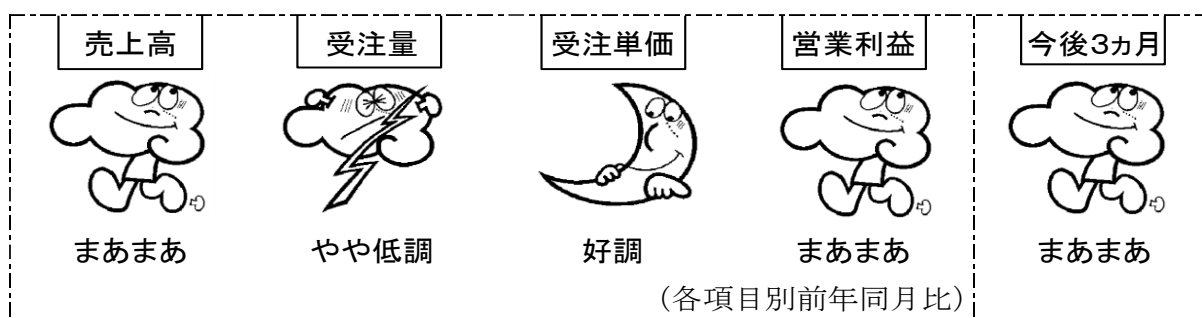
菓子

金属塗装

印刷

- ・同業他社も思ったより良くなかったとの話を聞いた。
- ・塗装の受注はこなしきれない程多いが、銘板の受注がここ数カ月少なく、今後も増える情報がなく心配である。
- ・昨年12月の景気動向調査において、後継者、事業承継問題について触れたが、印刷紙器会社の廃業の案内が届いた。物資高騰の影響に対して、業界へのデフレーションを含めた価格に見合わない要求がこうした事態をもたらし続けることになっている。スポーツに関する印刷物も価格転嫁の難航案件が生じている。

## 3. 卸売業








【項目別DIの推移】

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	0.0	33.4	58.3	9.1	27.3	16.7	22.2	0.0	33.3	▲12.5	0.0	12.5	8.3
販売客数	▲27.3	16.7	25.0	9.1	▲9.1	0.0	0.0	▲7.7	11.1	▲25.0	▲10.0	12.5	▲8.4
販売客単価	9.1	41.7	50.0	36.4	18.2	8.4	22.2	0.0	33.3	0.0	10.0	12.5	25.0
営業利益	▲9.1	25.0	25.0	▲18.2	▲18.2	▲25.0	▲11.1	▲23.1	11.1	▲25.0	▲40.0	0.0	0.0
見通し	▲18.2	▲16.7	0.0	▲18.2	▲18.2	▲16.7	0.0	▲7.7	0.0	12.5	▲10.0	0.0	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

- 土産品
  - ・学校などが夏休みに入り、人の移動が多く、観光客も増え、同時に土産品の客単価も上昇している。期待通りに売上も良い状態のまま進んでほしい。
- 魚介類
  - ・人手不足、賃金の上昇等中小企業にとっては厳しい現実がある。
- 自転車
  - ・大人用ヘルメットは依然間に合いづらい状況が続いている。修理部品は8月、9月に値上げの話が出ている。暑い日が続き、涼しい時間帯にお客様の動きが見られる。人件費が上がり、燃料費と共に経費が増えることが予想される。
- 金属製品
  - ・建築関連は依然中小物件が乏しい。高炉品と電炉品の価格差はあるものの、流通としての混乱は少ない。半導体関連や自動車関連の回復に期待をしている状況である。
- 木材・建材
  - ・小口であるが官公庁案件が出ており、一部受注にも繋がっている。

4. 小売業

<b>売上高</b>	<b>受注量</b>	<b>受注単価</b>	<b>営業利益</b>	<b>今後3カ月</b>
				
まあまあ	まあまあ	好調	やや低調	まあまあ

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	0.0	▲ 9.5	4.2	4.8	4.8	4.2	▲ 39.2	▲ 13.6	39.2	4.8	30.4	▲ 4.5	8.3
販売客数	▲ 33.3	▲ 9.6	4.1	0.0	▲ 4.8	▲ 4.1	▲ 39.1	0.0	4.4	▲ 9.5	17.4	▲ 9.1	4.1
販売客単価	▲ 11.1	4.8	0.0	▲ 4.8	0.0	12.5	▲ 26.1	13.6	0.0	▲ 19.1	26.1	9.1	25.0
営業利益	▲ 27.8	▲ 42.9	▲ 4.2	▲ 28.6	▲ 9.6	▲ 12.5	▲ 52.2	▲ 13.7	17.4	▲ 23.8	26.1	▲ 18.2	▲ 12.5
見通し	▲ 27.7	▲ 9.5	▲ 4.2	▲ 4.7	9.5	▲ 16.6	▲ 8.7	0.0	17.4	▲ 4.8	0.0	13.7	8.3

<経営者の目・見方・e t c>

- 総合小売
  - ・お中元のお買い求めは昨年より幾分伸びている。インバウンド需要は、地方では都会の百貨店程とはいかないが、松本市への外国人観光客が多いので、今後益々増えていけば良いと考えている。
- 洋菓子店
  - ・売上は横ばいである。暑いため人が出てこない。店の前の道路が5月から8月まで片側通行のため店に入りにくいのか、お客様が遠ざかったと思われる。
  - ・人の動きが活発になり、焼き菓子ギフトの需要が大きい。原材料の値上がり止まらないのが心配である。
- 化粧品
  - ・人出が増えてきた。特に外国人観光客が増えた。
  - ・今後のイベント情報支援施策などの情報を常に取得していかなければならない。

生鮮食品

印章

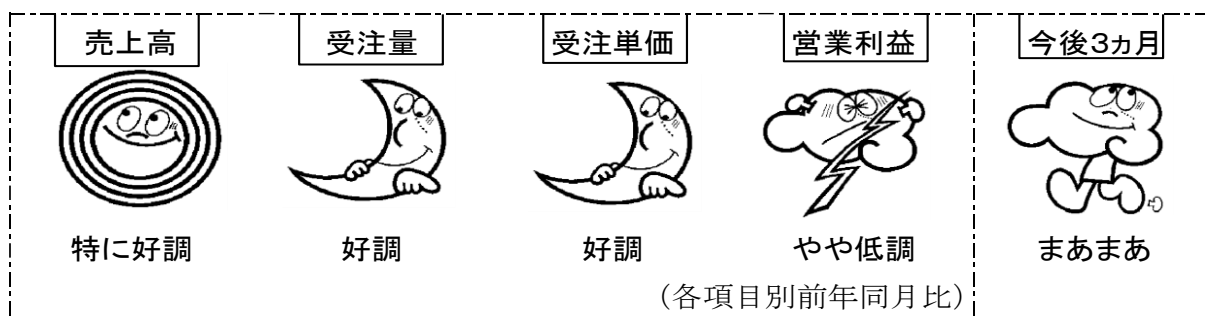
印章・刃物研ぎ

ガラスサッシ

手芸材料

- ・携帯片手に旅行に訪れる県外の観光客が多い。
- ・松本神社、深志神社のお祭りや太鼓祭りが例年に近い形で開催され、観光客も増えてきて元の生活に近づいてきているのを感じる。
- ・観光客、旅行客は増えつつあるが買い物をする意欲が乏しいと感じる。
- ・松本市中小企業者社会変革対応促進事業補助金と住宅省エネ2023キャンペーンに多少参加させてもらったが、手続きが大変だった。零細企業でそれをこなすことは、労働時間を大幅に増やすしかない。土日返上、夜間書類作成整理など。担当部署の理解と支援を期待したい。
- ・外国人観光客がととも増えた。

## 5. 飲食業



### 【項目別DIの推移】

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	5.9	33.4	20.0	30.8	▲ 6.6	7.2	23.1	▲ 23.1	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8
販売客数	11.8	20.0	13.3	23.1	0.0	▲ 7.1	23.1	▲ 23.1	55.6	25.0	38.4	25.0	23.1
販売客単価	▲ 11.7	6.7	▲ 6.7	7.7	13.3	▲ 28.6	7.7	▲ 15.4	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	23.1
営業利益	▲ 11.8	▲ 13.3	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 26.7	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 38.4	▲ 22.2	▲ 16.7	0.0	▲ 16.6	▲ 7.7
見通し	▲ 11.8	▲ 20.0	6.7	▲ 7.7	13.3	0.0	0.0	30.8	33.3	25.0	23.1	25.0	0.0

### <経営者の目・見方・etc>

寿司

- ・猛暑日が続き、こんな時はさっぱりした寿司が旨いが相当に気をつかう。まずは時間の問題だが、テイクアウトで作った寿司を家庭に持ち帰って1時間2時間も放っておかれたら大変である。手早く作って早々に食べてもらうのが生食をする基本である。

食堂

- ・7月に入り気温が上昇し、野外スポーツを控えるようになったのか、来客数が減った気がする。その分、ケータリングが増え時間に追われ忙しい1ヵ月であった。

料理

- ・コロナ禍前の状態に戻ってきた。
- ・宴会も多くなり人の動きが出てきた。

郷土料理

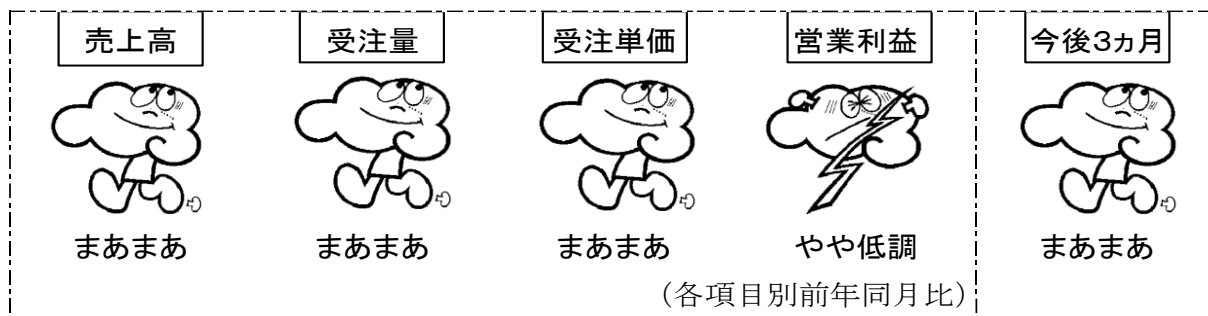
- ・新型コロナウイルス感染者の増減に関わらず外食が増えている。外国人観光客も戻ってきており、店側の受け入れ態勢を整える必要がある。

居酒屋

- ・物価上昇のため仕入が困難であり不安定な経営が続く。



## 6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	4.8	7.5	0.0	0.0	▲ 2.7	10.5	▲ 7.9	8.3	15.0	36.9	13.5	0.0	13.9
販売客数	2.4	7.5	▲ 2.6	7.5	5.4	▲ 5.2	▲ 7.9	8.3	2.5	28.9	8.1	0.0	11.1
販売客単価	▲ 2.4	2.5	5.1	7.5	10.8	5.2	13.2	11.1	10.0	23.7	10.8	5.4	11.1
営業利益	▲ 2.4	0.0	▲ 7.7	▲ 5.0	▲ 16.2	▲ 5.2	▲ 13.2	▲ 11.1	7.5	10.5	2.7	▲ 8.1	▲ 5.6
見通し	7.1	15.0	5.1	2.5	▲ 5.4	▲ 5.2	▲ 5.3	8.3	2.5	15.8	10.8	24.3	13.8

### <経営者の目・見方・etc>

観光旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好天と都会の暑さによって予約も増え、梅雨も空梅雨に終わったため好調な7月だった。一方、人手不足は続いており、8月からの一ヶ月は学生のアルバイトが集まったが、9月からは不安要素が大きく困っている。</li> </ul>
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国旅行支援が終了したが旅行ニーズの勢いは強い。これから本格的な夏休みシーズンに入り忙しい期間が続くので、体調に留意しながら頑張っていきたい。</li> <li>・コロナ禍前の動きを感じる。</li> </ul>
旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物価高、光熱費の高騰により深刻な状況である。</li> </ul>
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊は戻ってきているが9月以後が心配である。会議、宴会については戻りが急で、コロナ禍前よりも予約は多い。</li> </ul>
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外からの観光客増加に伴い多忙を極める中、働き手が不足しており悩ましい。</li> <li>・自社の事情では横ばいだが全体の動きは活発になっている。スカイラインが通れないことが大きな要因であると思うが、来年も続いて活発であってほしいと思う。</li> </ul>
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシーの観光地での営業が多く、市街地のタクシー台数が法人個人と少ないため、お客さまがスムーズに利用できないようである。</li> </ul>
システムサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物価高、個人消費抑制による製造業を中心とした設備投資の弱さを実感している。</li> </ul>
自動車整備・板金塗装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガソリンの高値が気になる場所である。夏休みを前に各家庭も予定を作るのに苦労していると思う。我々の業種にも影響が出てくるであろう。</li> </ul>
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事のテーマは引き続きある。部品の納期も大分間に合ってきたが、まだ一部の部品は半年もかかるものもある。</li> </ul>
ホームクリーニング・リネンサプライ業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行業者の動きが活発になり繁忙期を迎えている。人手不足が深刻ではあるが、政府にはエネルギー対策に関する抜本的な政策を望みたい。</li> </ul>
写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活気が出てきて、旅行、イベント、行事が戻ってきた。忙しくはなってきたが何もかも高くなり物価上昇は厳しい。すぐに値上げ対応はできない。</li> </ul>
不動産賃貸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変動なし。</li> </ul>

